



おまち

Vol. 83

2014. 5. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課(まちづくり推進係)



【連載】観光まちづくり最前線
地域を歩くレポート No.4

産業遺産の活用を考える～富岡製糸場と
絹産業遺産群の世界遺産登録に向けて

【連載】世界遺産応援プロジェクト第二弾

世界遺産を目指すまちづくり
～絹産業遺産群～



マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け 地名由来の探求
“渋川市北橘町”の由来
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて・・・

【まちづくりイベント情報】

- マーチィの独り言 県内で行われるイベントの紹介
ふるさとキラキラフェスティバル in 沼田 開催中です！



県立敷島公園スポーツ施設改修事業 ～スポーツ観戦が楽しくなる施設づくり～



県立敷島公園スポーツ施設改修事業 ～スポーツ観戦が楽しくなる施設づくり～

群馬県都市計画課 公園緑地係

○はじめに

県立敷島公園は県内スポーツの拠点とも言える運動公園であり、プロスポーツの開催場所としての魅力を高める必要がありました。このため、楽しく快適にプロスポーツを観戦できると同時に、利用者がワクワクしながら競技できるように改修しました。



プロスポーツの開催状況

○動画の放映が可能な大型映像装置を設置しました

これまでの大型電工掲示板やスコアボードでは文字しか表示できませんでしたが、今回、リプレイ映像を映せるLED画面を設置したので、競技の楽しみ方の幅が広がり、フィールドとスタンドの一体感が格段に向上しました。

(正田醤油スタジアム群馬)



改修前



改修後

(上毛新聞敷島球場)



改修前



改修後



○収容可能人数を増やすためのサイドスタンド増設

よりたくさんの方が観戦できるように、ゴール裏サイドスタンドの立ち見席やトイレを増やしたので、15,700人を収容できるようになりました。以前の収容人数は10,120人でしたのでより多くの方が観戦できるようになりました。



北側スタンド



南側スタンド



トイレ (洗面台)

○快適に観戦できるようスタンドを改良しました

メインスタンドのベンチの一部を椅子にしたり、ドリンクホルダーをつけて楽しく快適に観戦できるようにしました。



ベンチを個席に改修



ドリンクホルダー付



VIP席の新設

○周辺環境に配慮した音響設備を設置しました

これまでの音響設備は、音質が悪く、音が拡散してしまうため、近隣住宅に配慮して最小限の利用としておりましたが、今回、音質がよく、音が拡散しにくい音響設備を設置したので臨場感のあるクリアな音質で競技を楽しめるようになりました。



スピーカー



操作室 (陸上)

○おわりに

今回の改修事業は、計画から工事完成までの期間が約1年間という非常に短いスケジュールでした。そのため、設計から工事完成まで一刻の余裕もありませんでしたが、関係者の協力により本格的なシーズン開幕前に工事を完成することが出来ました。

スポーツ施設は、以前にも増して地域活性化の拠点として多様な役割が期待されていますので、競技環境の向上に加えて、観戦する人の快適性を高めていくことも求められていると感じています。





富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録に向けて

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

昨年の9月25日と26日、ユネスコの諮問機関・国際記念物遺跡会議(イコモス)による「富岡製糸場と絹産業遺産群」の現地調査が行われました。6月にも正式発表される世界遺産登録に向けて、地元の高い期待を見せる一方で、登録後の集客によって地域の生活やまちづくりに支障が生じないように、また世界からの注目を地域の活力向上に活かそうとする取組みが佳境を迎えています。今回の観光まちづくり最前線は「世界遺産登録」をテーマにレポートしたいと思います。

■世界遺産登録後の集客の3つの推移パターン

これまでの我が国の世界遺産登録は17件(文化遺産13件、自然遺産4件)。世界遺産登録地域の登録前後の観光入込数の推移を概観すると、3つのパターンに大別されます。

第1パターンは世界遺産登録が切っ掛けとなって観光客が徐々に増加してくるタイプ。白川郷・五箇山の合掌造り集落(1995年記載)がこれにあたります。合掌造り集落は登録直後に1.5～約2倍へと増加するものの、その後の集客は安定的な増加傾向に向かいます。その変形型が第2のパターンで、先と同様に登録直後は増加するものの、その集客効果は1年程しか持たずに元に戻ってしまっているパターンです。日光の社寺(1999年記載)や石見銀山とその文化的景観(2007年記載)等です。

第3のパターンは厳島神社(1995年記載)に見られるように登録以前より観光客が減少してしまっているタイプです。厳島神社の場合は、台風による被害が観光客の変動に及ぼす影響が少なくはないと推察されます。また近年のNHK大河ドラマの影響もあり観光客が増加傾向に転じてきています。

少なくとも世界遺産登録が契機となり観光客が増加することは共通しています。世界遺産登録に向けて地域が備えておくことでその後の推移は変わってくるのではないのでしょうか。何もないと思われては失望して次の来訪や口コミにつながりません。また、一方では極端に俗化させずに自然体の地域でありつづける必要もあります。望ましい観光入込みは、いうまでもなく「白川郷合掌造り集落」の推移パターンではないのでしょうか??



資料：世界遺産シリーズ 世界遺産ガイド(日本編)2012改訂版、シンクタンクせとうち総合研究機構

■世界遺産登録への備え～伊勢崎市境島村まちづくり推進協議会女性部会のWSに参加して

イコモス現地調査の直前の9月12日、私たちはゼミ夏季合宿として、担当教授が観光まちづくりのコーディネーターを努めている甘楽町と伊勢崎市境島村のまちづくりWSに参加させていただきました。

境島村には「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つである田島弥平旧宅があります。朝9時過ぎに集合し、まち歩きガイドの案内のもとで地域を拝見。やぐらをもつ特徴的な養蚕農家が数多くある養蚕集落や、町の真ん中を流れる利根川と境島村の歴史、そして渡船での通学の話等に心を奪われました。また近代国家になった



ばかりの頃に蚕種をイタリアに輸出する等、グローバルな取り組みが行われていた地域であったことに驚愕し、その気持ちのままに午後のWSに参加しました。

午後のWSには地元で活躍されている組織の女性の方々が参加され3つのテーブルで意見交換をすることになりました。午前中のまち歩きを通じて「どこが拠点となるか」「どのように巡るのがよいか」を話し合った後に、「地域を訪れた方々にどのようなサービスやもてなしをすれば良いか」について、各自の考えをポストイットに書き出し、取りまとめ、発表という手順で意見の集約を図りました。私たちが参加させていただいたWSは3回目であり、その後もWSを重ねて「まちづくりビジョン(骨子)」を住民の皆さんの意見によって策定されるとのことでした。何故女性の方々だけのWSなのかを大下教授に聞いたところ「男性はお金を使うまちづくり、女性は知恵を使うまちづくり。現実的な意見が得られることが多いから…」の言葉に、会議での意見の内容と照らし合わせて考えると、“なるほど”と思う意見が多くあったことを思い出します。



午前中・栗原さんのガイドで地域を見学。
田島弥平旧宅の前で。やぐらと大きな養蚕農家に驚き!!



女性比率の高いWS会議。
テーブル毎に多くの現実的な意見が集められました。

■さらに広域での連携が「絹産業遺産群」を「日本を代表するクールな絹文化」へと導く

田島弥平旧宅は利根川の南側にあり埼玉県に接しています。明治の大実業家・渋沢栄一翁の深谷市、養蚕研究の競進社のあった本庄市とも近く、一帯は絹産業と関わる多くの物語のある地域です。

また大学キャンパスのある八王子市には「絹の道」と呼ばれる道が残っています。歴史の道・百選(平成8年)にも指定されている道です。安政6(1859)年に横浜港が開港され、輸出品の中心であった生糸が、上州(群馬県)、甲州(山梨県)、信州(長野県)や周辺の山間地域から八王子に集められ、月に6回の市(六斎市)が開かれていたと記録されています。八王子が交通の要衝であったこと、江戸時代から活躍していた鑓水商人の本拠地であったこと等から、生糸取引の拠点となり、八王子から多摩丘陵を超えて町田を通り横浜に人力で運ばれた道が「絹の道」であり、西洋文明を伝える道であったのです。その後、甲武鉄道(現・中央線)や横浜鉄道(現・横浜線)の開通により、人力での生糸の運搬路であった絹の道はその役割を終えることとなります。現在、一部に絹の道が残されており、周辺には「絹の道資料館」も整備され、館の展示室内には絹の道や製糸・養蚕に関する資料が展示されています。

群馬県内の「絹産業遺産群」から派生させて、「絹文化」をテーマにして利根川の南部地域や八王子・横浜との連携を図ることは、近代国家建設の激動な時代背景と重なって、よりドラマチックでクールな日本の近代化の物語をアピールできるものへと展開することになるのではないのでしょうか。

(文責：原 和哉・芦崎里紗・鶴岡大輝・齋藤和也)



渋沢栄一一家・中の家の内部展示(埼玉県・深谷市)



競進社(埼玉県・本庄市)



八王子は生糸の集積地。八王子から横浜の港へは絹の道を使って人力で運ばれていました(写真左:絹の道資料館/写真右:残されている「絹の道」)





世界遺産応援プロジェクト第二弾

世界遺産を目指すまちづくりー絹産業遺産群ー



伊勢崎市企画部企画調整課



写真：案内標識の整備(田島弥平旧宅前)、案内標識(拡大)

伊勢崎市では、世界遺産登録を踏まえた市民協働によるまちづくりを推進するため、月1回程度、境島村まちづくり推進会議を開催しています。同会議では、帝京大学経済学部観光経営学科の**大下茂教授**にも御協力を頂きながら、境島村区長や地元団体の皆様により、周辺環境整備やおもてなし対応に向けた積極的な意見交換が進められています。こうした取り組みの結果、写真のような周辺環境整備やおもてなし対応が実現しています。

本年2月の会議では、伊勢崎市関係課のほか、伊勢崎警察署、伊勢崎行政県税事務所、伊勢崎土木事務所、境島小学校の皆様にも御出席いただき、総勢約40名で田島弥平旧宅周辺の実地調査を行いました。同会議では、世界遺産登録後の来訪者の増加を見込んだ安全対策について意見交換を行うとともに、その実施に向けた関係機関との連携についても確認が行われました。

このように本市では、世界遺産を目指すまちづくりの輪が、一步一步、着実に広がるとともに、市民協働によるまちづくりの成果が、ハード・ソフト両面で現れてきています。

藤岡市教育委員会文化財保護課



写真：管理便所棟

藤岡市では、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である高山社跡の世界遺産登録推進と合わせて、建造物の保存整備を進めるとともに、まちの活性化を図るため高山社跡及び周辺資産の活用を検討し、平成25年3月に「高山社跡周辺整備基本計画」を策定しました。基本計画としては、高山社跡及び周辺一帯の「文化遺産としての価値の【保全】」を大前提として、藤岡市の多彩な観光資源との「【連携】により観光力のアップ」を図るとともに、「市民参加の【交流】の場づくり」により、市民のもてなしや生きがいとしての場づくりを進めることを基本的な考えとし、事業を進めています。

周辺整備として平成25年度に、高山社跡前に管理便所棟と北側駐車場の建設を進め、現在は高山社跡と北側駐車場をつなぐ遊歩道の整備を進めています。また11月に行われた、高山社跡や藤岡市の自然にふれながら走る「**蚕マラソン**」では県内外から多くの参加がありました。平成26年6月の世界遺産登録に向け高山社跡への見学者数も増え、観光客へ向けた、高山社関連の土産を購入できる「**会遊亭**」が昨年6月に市街地にオープンするなど、世界遺産に向けてまちづくりを進めています。

下仁田町企画財政課企画調整係



写真：荒船風穴
1号風穴(冷氣放出)

下仁田町にある指定史跡 荒船風穴は、明治後期から昭和初期まで使用された蚕種貯蔵施設です。電気冷蔵庫が普及していなかった時代、天然の冷風を活用した風穴技術により養蚕の多回数化を可能にし、日本最大規模の貯蔵量を誇り、西上州の山間にありながら全国規模の取引を実現しました。生糸の大量生産を実現した技術革新の重要な役割を果たした施設として、世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つとしてあげられています。

現在でも冷風が継続的に噴き出ており、直接肌で感じる事ができる希少な史跡となっています。神津牧場近くの山間の自然豊かな場所にあるため、夏場に訪れるには最適な癒しスポットであり、ガイド案内により史跡の歴史的重要性を知ることでもあります。位置は長野県境近くの山間地にありますが、神津牧場や荒船の湯などの施設に近いことから、これらの観光拠点を結び、全体として観光地としての機能を高める取り組みを進めています。また、アクセスが容易でないことから、簡単に利用できる交通ツールとして、地元タクシーによる荒船風穴・ジオパークツアーを昨年度から開始し、平成26年度はシャトルバスの運行も計画しています。

支援団体として荒船風穴友の会も設立される予定であり、機運も高まっており、今年度は荒船風穴に関連付けたイベントが各所で実施される予定です。お土産や特産品など関連商品も開発されていますが、中心商業地や産業にいかに結び付けられるかがこれからの課題でもあります。



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

●群馬地名由来の探求●



ねえ、マーチィ。“**渋川市北橋町**”について教えてクリ!!



佐久発電所のサイリタング
(渋川市北橋町)

【カリス1枚】

まち's クリ



マーチィ

由来については幾つかの説があるけど、そのうちの一つに、日本武尊(やまとたけるのみこと)が妃の弟橘姫(おとたちばなひめ)を偲んで、「橘姫恋し 姫恋し」と、繰り返し何度も叫ばれた丘を橘山(たちばなやま)と呼び、その北に位置することに由来しているんだよ。村名として「きたたちばなむら」と呼ばれていたけど、いつの間にか音読みの「ほっきつむら」と呼ばれ、2006年に渋川市と合併になり、「ほっきつまち」となったんだよ。現在でも二つの呼び名が残る北橋町だよ。

参考資料:「わたしたちの地名ぐんま」(社)群馬県子ども育成団体連絡協議会発行

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

まちづくりラボ・サルベージ株式会社 大迫 道治



大迫道治さん(下段一番左)



講座の様子

平成24年度のパートナーネットワーク講座を受講させていただき、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただくことができました。勤務先は東京ですが、講師の天下先生、アシスタントの滝沢さんと仕事で一緒に働く機会が多く、また、これまでみなかみ町や旧利根村の水源地域ビジョンをはじめ群馬県内でお世話になることが多かったため、県外ではありましたが参加させていただきました。よそ者を温かく迎え入れてくださった皆様、ありがとうございました。

認定後の平成25年度は、伊勢崎市、甘楽町において、天下先生がコーディネートをされているワークショップの運営をお手伝いしました。私がファシリテーターとして登板することもありましたが、いつも天下先生からは「本当に認定されたの?」とダメ出しをもらっています。講座資料を読み返して、もっとスキルアップしなければ。

その他、現在取り組んでいることとしては、料理研究家と地元料理人のコラボによる地域固有の伝統野菜を活用した特産品開発や、地元観光事業者と観光協会の連携による昔ながらの暮らしぶりを体験できる着地型旅行商品開発の支援を行っています。このように埋もれている地域資源を引き上げる(サルベージする)観光事業を、今後も地域の皆さんと一緒に実践していきたいと考えています。

ファシリテーターとしてはまだまだですが、観光まちづくりや観光事業の様々な業務において講座で学んだことを少しでも活かし、地域のお役に立ちたいと思います。

マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて・・・

庭田 泰好 (明和町→群馬県都市計画課都市計画係)



平成24年度のまちづくり推進係、平成25年度の都市計画係として2年間明和町から研修職員としてお世話になりました。

この2年間で感じたことは、どこの市町村も“まちづくり”に真剣に向き合い、様々な取り組みをしていることでした。今後は、明和町の“小さいながらもキラリと光るまちづくり”のために、県庁生活で学んだ知識や経験を少しでも活かせればと思います。県・市町村の都市計画職員の方々には、大変お世話になりました。

稲垣 純 (藤岡市→群馬県都市計画課まちづくり推進係)



平成25年4月より県都市計画課に配属となってから、早一年が経ちました。私自身、人見知りな性格のため、当初はまったく落ち着かず、業務もなかなか手に着かなかったことを覚えております。しかし、都市計画課の皆様から暖かいご指導を賜り、人事交流を無事に終えることができました。都市計画課の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。一年間の業務を通して、県内及び全国の市町村のまちづくりの事例を知ることができ、大変勉強になりました。今後は市の業務に戻りますが、人事交流で学んだことを活かせるように頑張りたいと思います。

真下 和之 (前橋市→群馬県都市計画課都市計画係)



平成25年4月より人事交流職員として前橋市から派遣され、1年間、群馬県都市計画課都市計画係に配属されてきました真下と申します。配属された当初は、環境に慣れることができるのか不安でいっぱいでしたが、課長をはじめ課の皆様ののおかげで無事に役目を終えることができました。都市計画定期見直しに係る関係機関との調整や区域マスタープランの改定に係る協議、都市計画道路の見直しなどを学ばせていただきました。市役所に戻ってもこれらの経験を活かして、前橋市が魅力ある持続可能なまちとなるよう業務に励んでいきたいです。

三井 創史 (桐生市→群馬県都市計画課景観・都市行政係)



この一年を振り返って一番感じたことは、景観と言ってもまちによって大事にしている景観は違うということです。街中や田畑、山並みなど町によって特色があり、県全体を見られたからこそ、各まちの個性が見て取れました。また、市町村職員の方、県の方とも仲良くなれ、色々とお助けいただきました。聞きたいことが気兼ねなく聞ける環境ができたことは県に来てよかった点であります。この一年でできた繋がりを今後も大切にしていきたいです。みなさん大変ありがとうございました。





まちづくりイベント情報



生品神社鎬矢祭

新田荘がつくられたこの地域で、有力な御家人として活躍した新田義貞公の旗揚げ日に、地域のまちづくりを担う、地元の小学生が鎌倉方面に向けて一斉に鎬矢を放ちます。

■5月8日(木)
10:00~

■生品神社境内
【お問い合わせ先】
太田市観光協会
(市産業観光課内)
TEL 0276-47-1833



酒蔵ジャズコンサート 番外編

玉村八幡宮野外ライブ「中村誠一トリオライブ」

歴史資産を生かしたまちづくりに取り組んでいる「まちづくり玉村塾」が行う酒蔵ジャズコンサート。今年は番外編として玉村八幡宮境内にて行います。

■5月17日(土)17:00開場 17:40開演

■玉村八幡宮(玉村町下新田1)

【お問い合わせ先】
事務局 玉村町生涯学習課文化財係
TEL 0270-30-6180
チケット問合せ 玉村八幡宮
TEL 0270-65-2305

※雨の場合は参集殿にて行います。



観音山ファミリーパーク2014県民参加フェスタ

県民参加で作りに上げるイベントです。ゆるキャラも登場し、熱気球やクラフト体験、ジャズコンサート他ステージ、企業ブースやフリマ・軽トラ市など行われます。

■5月17日(土)~5月18日(日)

10:00~15:00

■群馬県立観音山
ファミリーパーク

【お問い合わせ先】
観音山ファミリーパーク
TEL 027-328-8389



渋川まちなかうたごえサロン

まちづくりの担い手として活動しているまちづくり市民サポーターが中心市街地を盛り上げています。青春時代に歌った懐かしいあの曲をギター伴奏で歌いましょう!

■6月28日(土)15:00~17:00

■エッグホール
(渋川駅前通り商店街)

【お問い合わせ先】
渋川市中心市街地
まちづくり市民
サポーター事務局
渋川市商工振興課
TEL 0279-22-2596



思いやりの伝わるまちづくりをめざします

私たちTEEPは、公共事業コンサルタントとしての豊富な経験と専門的能力を備えた人材が集う組織で、まちづくりのノウハウに関する市民一人ひとりのレベルアップに貢献し、行政と対等で前向きな連携をサポートしていきます。



代表 齊田 典之 技術士:建設部門(都市計画) 特定非営利活動法人
事務局 〒370-0002 高崎市日高町580 (株)高崎測量内 Tean Ecology Ethics Produce
TEL 027-361-2271 Mobile 090-1456-7338 E-mail tk_n_saida@takasoku.co.jp

帝京大学 観光経営学科

TEIKYO Department of Tourism Management

八王子キャンパス オープンキャンパス
2014年 6月22日(日)・7月13日(日)
8月3日(日)・8月24日(日)・9月21日(日)
10:00~16:00(受付時間15:30まで)
・大学説明会/入試説明会
・学生によるキャンパスツアー、フリートーク
・予約不要、入退場自由 ・詳しくはホームページをご参照ください

学際的教養、豊かな国際感覚、
確かな専門知識をあわせ持った
人材を育成します。

お問い合わせ先 TEL:0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359
URL:http://www.teikyo-u.ac.jp

マーチの独り言



みなさん、花と緑のぐんまづくり2014 in 沼田に行きましたか? 会場である沼田市街地、沼田公園、沼田駅前には市民の方々が育ててくれたたくさんの花でまちを彩っています。ゴールデンウィークは、たくさんの花と緑の中で、歴史と文化に触れてみるのはいかがでしょうか? 5月18日(日)まで開催しています!



(編集担当 新木)

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】
群馬県国土整備部都市計画課まちづくり推進係 TEL 027-226-3665 URL http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html